

謹賀新年

あけましておめでとうございます。

昨年は、山県市にとって未来につながる節目の一年となりました。東海環状自動車道の山県ICから大野神戸ICが開通し、広域的な交通ネットワークが大きく進展しました。また、旧美山支所があつた場所に、交流や防災、観光の拠点としていわ桜コミュニケーションセンターをオープンするなど、山県市の未来を拓く基盤がさらに整いました。

そのような中で、情報発信の強化にも取り組んだ一年でした。岐阜県山県市・山形県山形市・長野県山形村の「3つのやまがた」による連携協定を締結し、名古屋市内で共同イベントを開催するなど、新たな発信の形を確立しました。加えて、山県市公式インスタグラムの運用を開始し、より幅広い世代に山県市の魅力を発信する取り組みも進めております。

さらに、令和2年から実施してきた発掘調査などによってその価値が明らかになつてきた大桑城跡では、国に対し、国史跡指定についての意見具申を行いました。そして12月には、国の大桑城跡の歴史的な価値が認められたことにより、文化審議会で大桑城跡の歴史的な価値が認められたことにより、まもなく正式に国指定史跡となる見込みです。山県市の歴史的価値が広く認められつつあることは大きな誇りであり、今後もまちの活力となるよう効果的な活用を進めてまいります。

今年の干支は「午」でございます。古くから午は「目的に向かってまっすぐ駆け抜ける」象徴とされてきました。山県市にとっても、東海環状自動車道の開通や大桑城跡の国史跡指定への取り組みなど、未来への道が着実に開けつつある節目の年です。こうした追い風に乗り、たくましく駆ける午のごとく、地域の活動力をさらに高め、力強く前へと進む一年にしてまいります。

引き続き皆様との対話と共感により、魅力ある持続可能なまちづくりに尽力して参りますので、皆様のより一層のご理解とご協力を願いとともに、今年一年が幸多き年となりますようご祈念申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

また、「子育ち」応援のまちとして、こどもを守り、育み、未来につなげる環境づくりも大きく加速させました。昨年1月には、市役所に隣接する保健福祉ふれあいセンター内に、「こども家庭センター」「こどもげんきはうす」「こどもサポートセンター」「ここぶれ」を併設した、相談・支援・居場所が一体となつたこどもに関する総合拠点を開設しました。これまで以上に、こども家庭に寄り添い、誰もが安心して子育てできるまちを目指してまいります。

令和八年 元旦

山県市長 林 宏優



防災の気づき発見訓練

第3回 一雪害編一



問総務課消防防災係 TEL32-9100

雪が降る前に雪害対策を

令和7年2月初旬に、市で豪雪の被害が発生しました。美山地域全域にわたり、各所で停電が発生し、最大時の停電戸数は600戸を超えていました。短時間で復旧した区域もあれば、停電と復旧を繰り返した区域もあり、最初に発生した停電から全域の復旧まで5日を要しました。また、長時間の停電により携帯電話のバッテリー切れや暖房器具が使えないといった心配の声が届きました。

近年の異常気象の発生は予測が困難であり、今年も大雪が降る可能性があります。事前の準備を心がけましょう。

除雪・防寒グッズや非常用グッズの確認

積雪が予想されるときは、

除雪・防寒グッズを早めに用意しましょう。

除雪



防寒



大雪のための備蓄リスト

□日用品(1週間分)

水、食料、燃料(灯油)

□除雪用具

スコップ、滑り止め用砂、除雪ブ

ラシ、防寒着、雨具、長靴、作業

衣類、手袋、軍手

□長期停電に備えて

使い捨てカイロ、予備電池、懐中

電灯、携帯ラジオ、カセットコン

ロ、湯たんぽ

□雪道を運転する場合に備えて

スタッフドレスタイル、タイヤ

チェーンの装着



高齢者雪下ろし助成



首相官邸HP

